

Ubestagramer

背景・目的

宇部市(図1)は**緑と花と彫刻のまち**を市のキャッチフレーズとしており、手軽に彫刻を楽しむことができる。しかしながら、訪れる**観光客が少ない**という課題がある(表1:山口県内市町の観光客の状況)。

また、宇部市民の若者が宇部市に対して関心がなく、若者の人口流出の問題もある。

インスタグラムを活用して宇部市の魅力を内外に発信し、宇部市全体の活性化や住民に地域への関心を持ってもらうことを図る。この取組を通じて、宇部市の定住人口や交流人口を増加させることを目的とする。



図1 宇部市の位置

概要

1. **Ubestagramer**アプリ内のマップに**宇部の「インスタ映え」スポット**を表示
2. 宇部市内のお店に協力してもらい、アプリを通し**Instagramに店の写真を投稿**してもらった人に割引クーポンなどを発行してもらう。
3. 協力してもらうお店には**インスタ映えするメニュー**を出してもらい、アプリ利用者に対して**クーポン発行**などをしてもらう。集客効果及びアプリのプロモーションを期待する。

表1 山口県市町別観光客数の状況(単位:千人)

	市町村名	H28	H27
1位	下関市	6,530	6,678
2位	山口市	4,712	4,671
3位	岩国市	3,155	3,115
:			
9位	宇部市	1,527	1,360

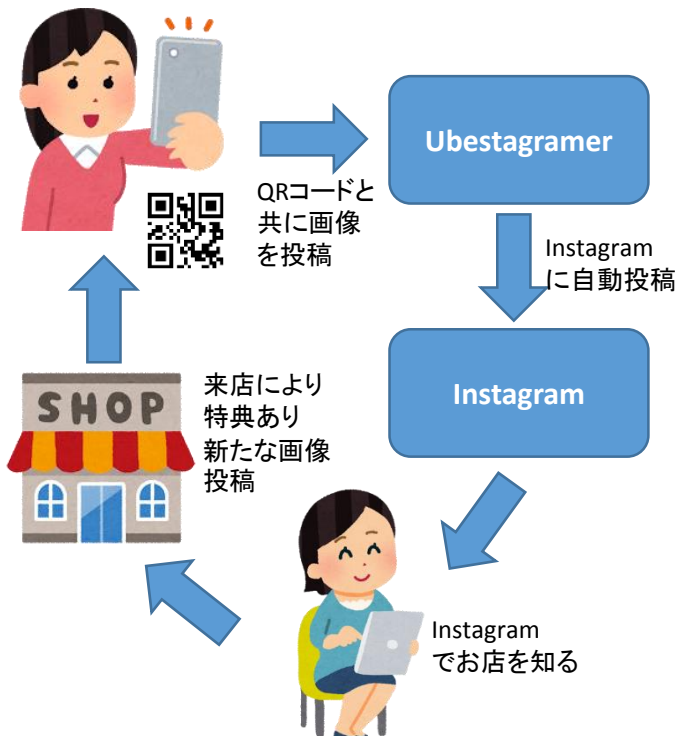


図2 全体のイメージ図

問題点と解決策

図2はUbestagramerを活用する全体のイメージ図である。

Instagramを活用するにあたって、そもそもUbestagramerを経由してInstagramに画像を投稿してくれるユーザーが少ないのではないか、という問題が懸念される。

その解決策として、投稿して魅力を発信してくれたユーザーへ利益を還元するというものが挙げられた。これには、宇部市内のお店に協力していただく必要があるが、協力していただくと、Ubestagramer上の**マップにお店の情報を表示**する。お店の中にはQRコードを設置させていただく。QRコードはスポットへのタグ付けを自動入力するための固有識別子となっている。タグ付けした投稿をお店の方に提示し会計時に割引を行ってもらうことで、ユーザー側は得ることができる。これによりお店側も店の名前を広く知ってもらうことができ、お店の客が増えることが期待できる。